

第1回道上小学の北側及び西側道路における 無電柱化事業に関する説明会

葛飾区 都市整備部 調整課

- 無電柱化事業の概要
- 葛飾区無電柱化推進計画について
- 事業箇所概要
- 事業箇所における無電柱化の方法
- 無電柱化整備のイメージ
- 事業スケジュール

1. 無電柱化とは・・・

無電柱化とは、道路の地下空間を活用して、電力線や通信線などをまとめて収容する電線共同溝などの整備による電線類地中化や、表通りから見えないように配線する裏配線などにより道路から電柱をなくす事業のことです。

葛飾区における無電柱化の整備事例（補助264号線（細田東区間））

【整備前】



【整備後】



2. 無電柱化の整備効果

無電柱化は『道路の防災性向上』、『通行空間の安全性・快適性の確保』、『良好な景観形成や観光振興』を目的とした重要な施策の一つとされています。

道路の
防災性能の向上



電柱崩壊による通行の妨げ (国土交通省HPより)

緊急車両
通行の支障



電線による救助活動の妨げ (東京都HPより)

通行空間の
安全性・快適性の確保



電柱による歩行通行の妨げ (国土交通省HPより)



歩道内の歩行空間を確保

良好な景観形成や
観光振興



電柱・電線を撤去することで眺望を確保
(国土交通省HPより)

3. 最近の電柱による事故

近年、台風を原因とした電柱倒壊被害が多発しており、無電柱化の必要性が高まっています。

また地震発生時には、電柱倒壊による救助活動の遅れが懸念されています。

【2018年9月 台風21号による電柱の倒壊】



写真：大阪府寝屋川市

【自然災害における電柱の倒壊本数】

年	災害名	倒壊電柱数
2019年	台風15号	1,996(本)
2018年	台風21号	1,630(本)
2011年	東日本大震災	約28,000(本)
1995年	阪神淡路大震災	約4,500(本)

経済産業省HPより

【2019年9月 台風15号による電柱の倒壊】



写真：千葉県館山市

3. 最近の電柱による事故

通学路や狭い道路において、電柱と車の間に挟まれる事故も発生しています。

【2018年6月 電柱と車の衝突事故】



写真：朝日新聞(新宿区)

4. 葛飾区無電柱化推進計画について

無電柱化の重要性を踏まえ、令和元年6月『葛飾区無電柱化推進計画』を策定しました。

全区道を対象に、無電柱化の必要性を評価して、優先的に無電柱化を進めていく7路線を選定

歩道幅員2.5m未満および歩道なし

優先整備候補路線の対象の抽出

優先整備候補路線

優先整備候補路線の抽出対象に対して設定した評価指標※4で地域区分※5ごとに評価し選定

優先整備路線(7路線)

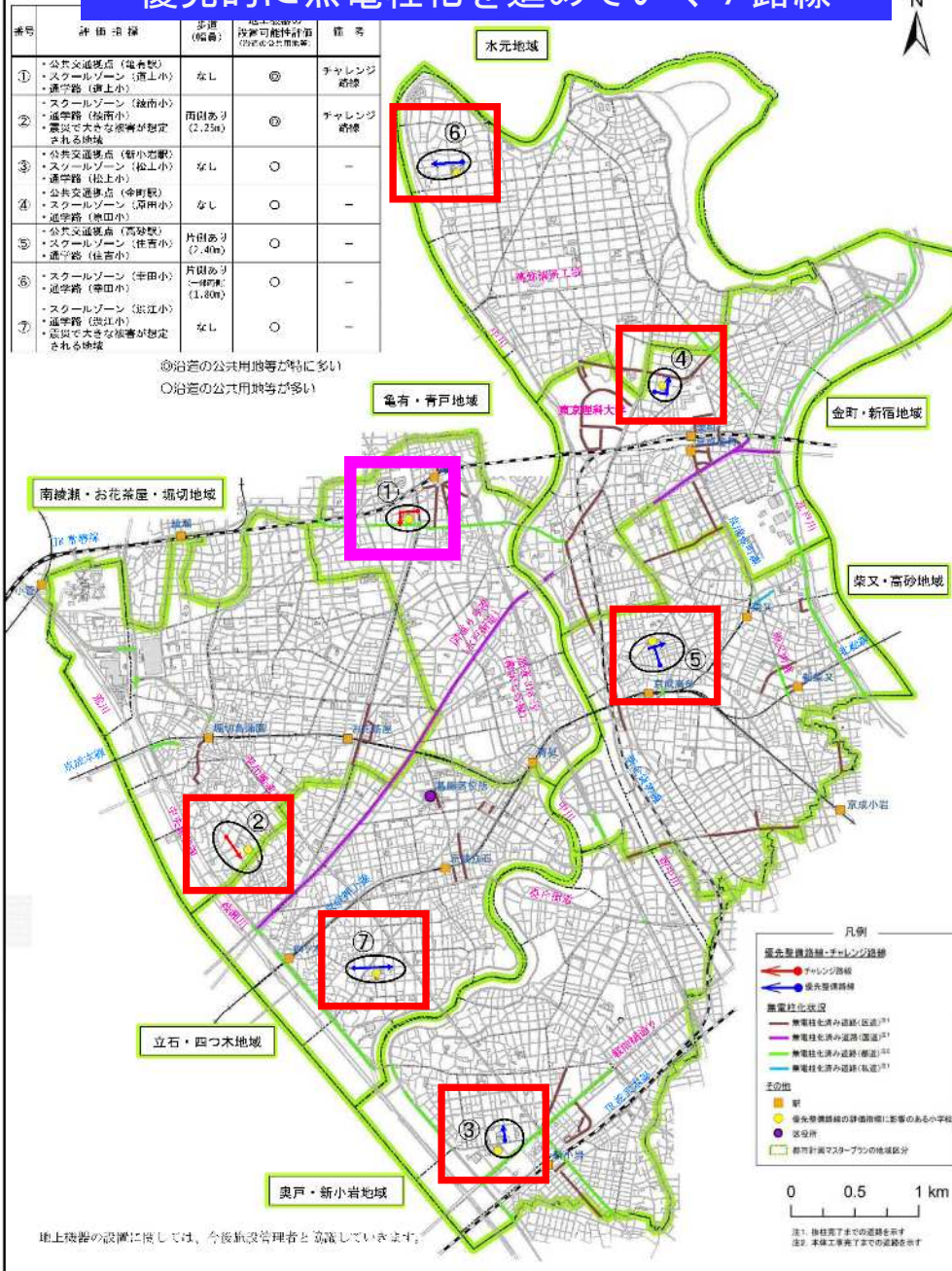
優先整備候補路線に対して地上機器の設置可能性のある沿道の公共用地等を確認し沿道条件を加味した総合評価で選定

チャレンジ路線(2路線)

優先整備路線(7路線)のうち区内における代表的な道路幅員構成の路線であり沿道条件を加味した総合評価が高い上位2路線を選定

今回対象の事業箇所

優先的に無電柱化を進めていく7路線



5. 無電柱化事業箇所

路線名 : 葛新19・20号線

対象範囲 : 亀有四丁目31番先~37番先まで

道路延長 : 240m 道路幅員 : 6.0m (歩道なし)



6. 無電柱化事業箇所を選定理由

昨年に策定した「葛飾区無電柱化推進計画」の中で、特に“**安全性向上**”の観点において無電柱化が必要な路線（チャレンジ路線）として選定。

番号	区間情報			評価
	延長	道路幅員	歩道有無	
①	約0.2km	約6m	無	公共交通拠点(亀有駅)、スクールゾーン・通学路(道上小)

← :対象路線
 --- :地上機器設置の候補地(公共用地)
 --- :地上機器設置の候補地(道路)
● :写真位置

**亀有・青戸地域
優先整備路線・チャレンジ路線**

緊急輸送道路 曳舟通り
 区立道上小学校
 道上児童遊園
 道上小学校 (災害時緊急医療救護所)
 都市計画道路補助136号線 (無電柱化済み)

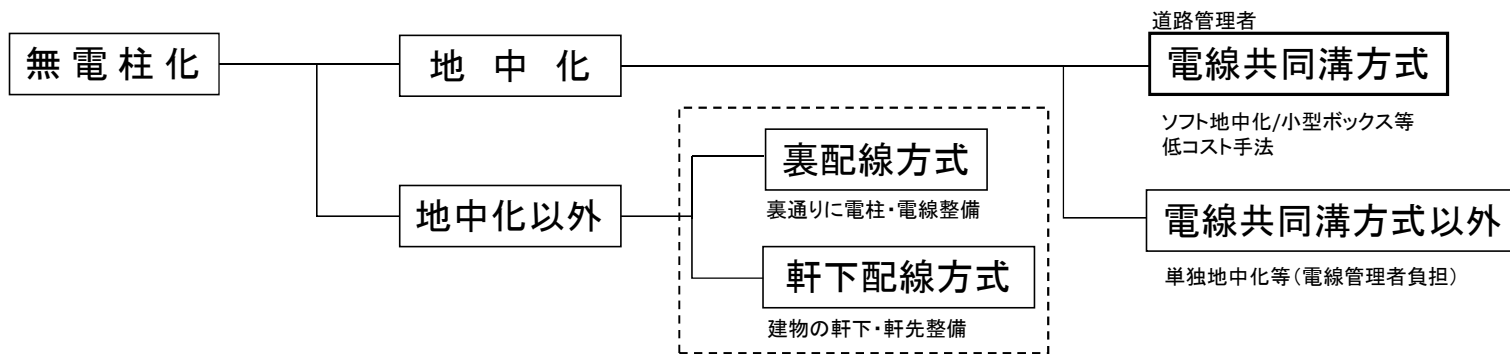
出典: 国土地理院地図

a.区立道上小学校

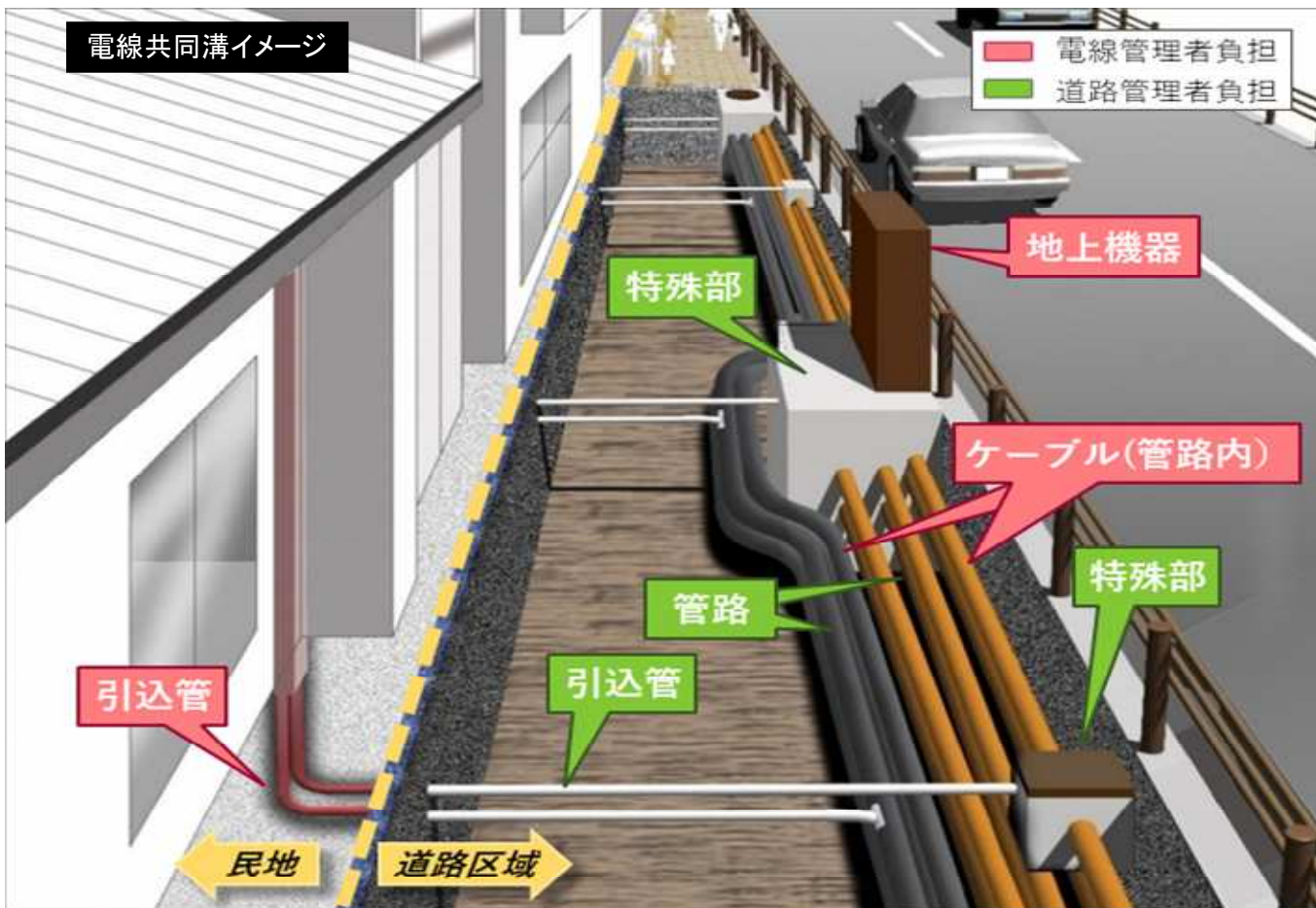
b.道上児童遊園

選定理由
 緊急輸送道路や無電柱化済み路線から災害時緊急医療救護所(道上小学校)へのアクセス路
 亀有・青戸地域の優先整備候補路線の中で、最も地上機器設置可能性のある公共用地に
 面している路線

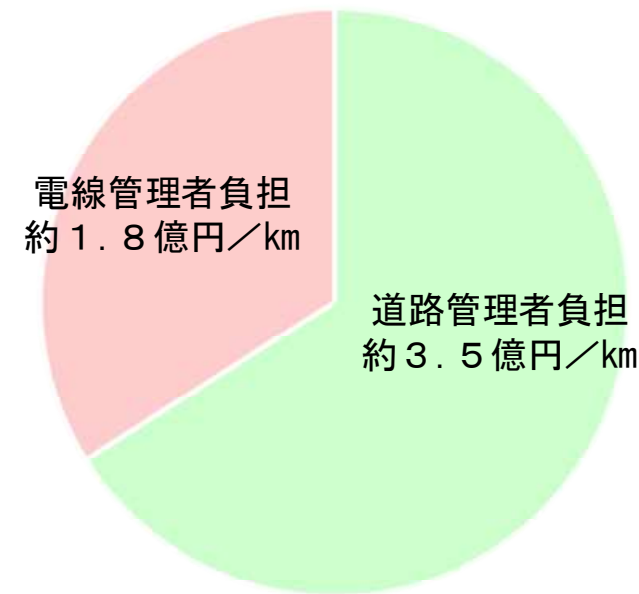
7. 無電柱化の整備手法



電線共同溝方式



電線共同溝施設延長1kmあたり
5.3億円における負担内訳

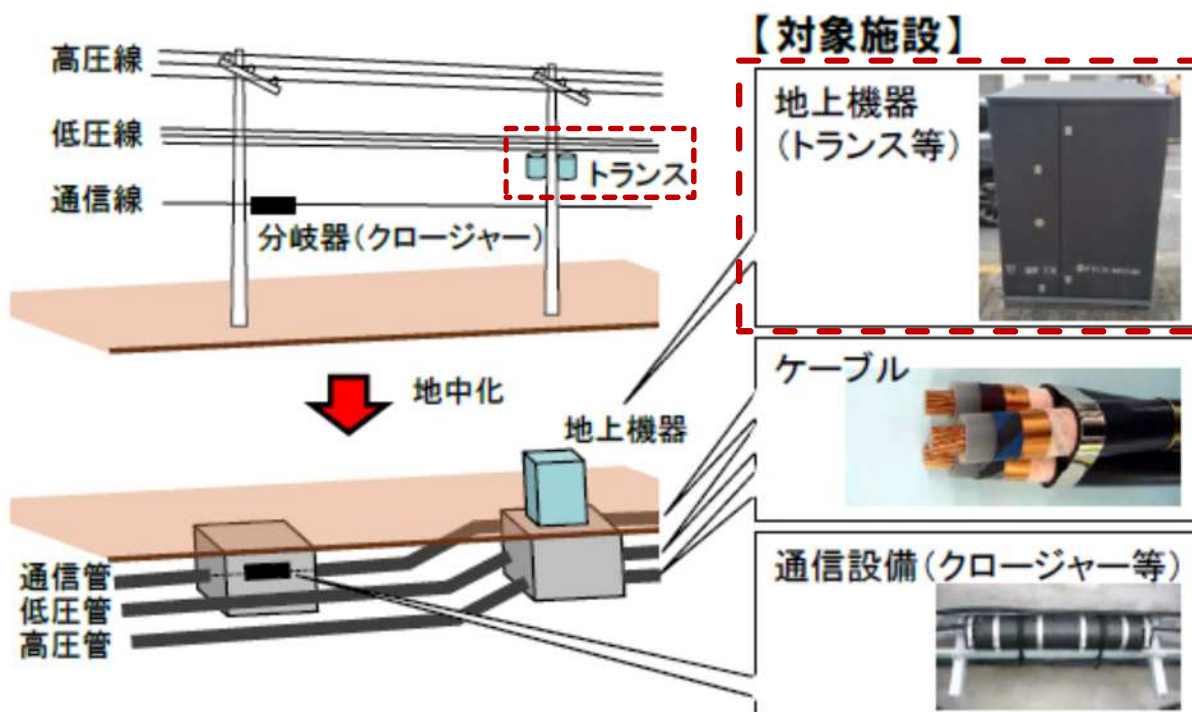


地中化に伴う沿道住民の費用負担はありません

8. 地上機器とは・・・

地上機器：高圧線で運ばれてきた電気を家庭用に変換する機器

【地上機器の設置イメージ】



※ 国土交通省HPより

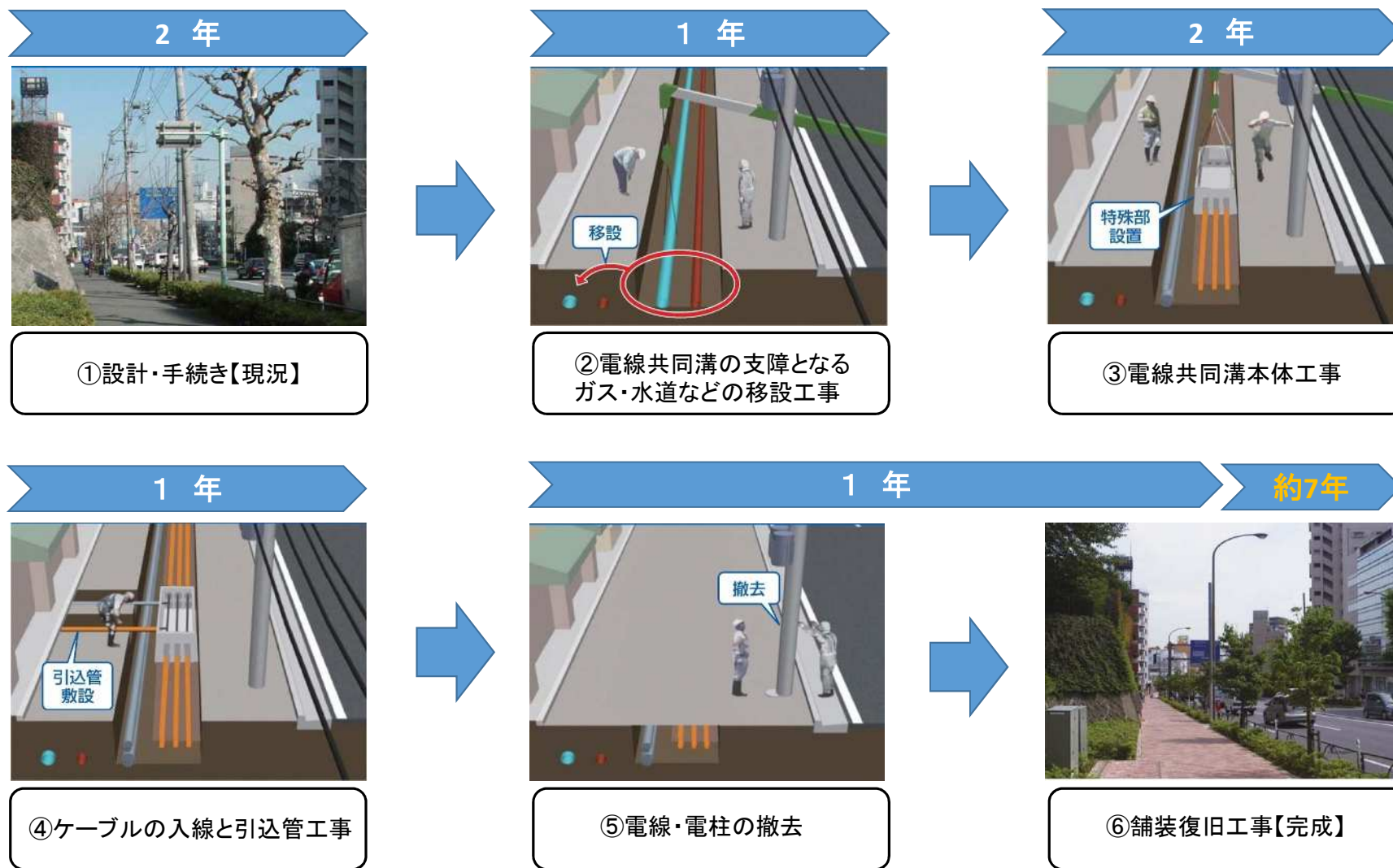


電柱に添架するトランス等は、地中化に伴い、地上機器として地上に設置する必要があり、**数十メートルごとに地上機器の設置が必要。**

9. 無電柱化事業の流れ

道路延長約400mの無電柱化を実施するためには最短でも約7年間かかるとされています。

● 電線共同溝事業の流れ ※ 東京都無電柱化推進計画より



10. 無電柱化事業箇所への整備方針

葛新20号線

道上児童遊園

葛飾区立道上小学校

道上小学校用地内に地上機器を設置する
電線共同溝方式により無電柱化を実施予定

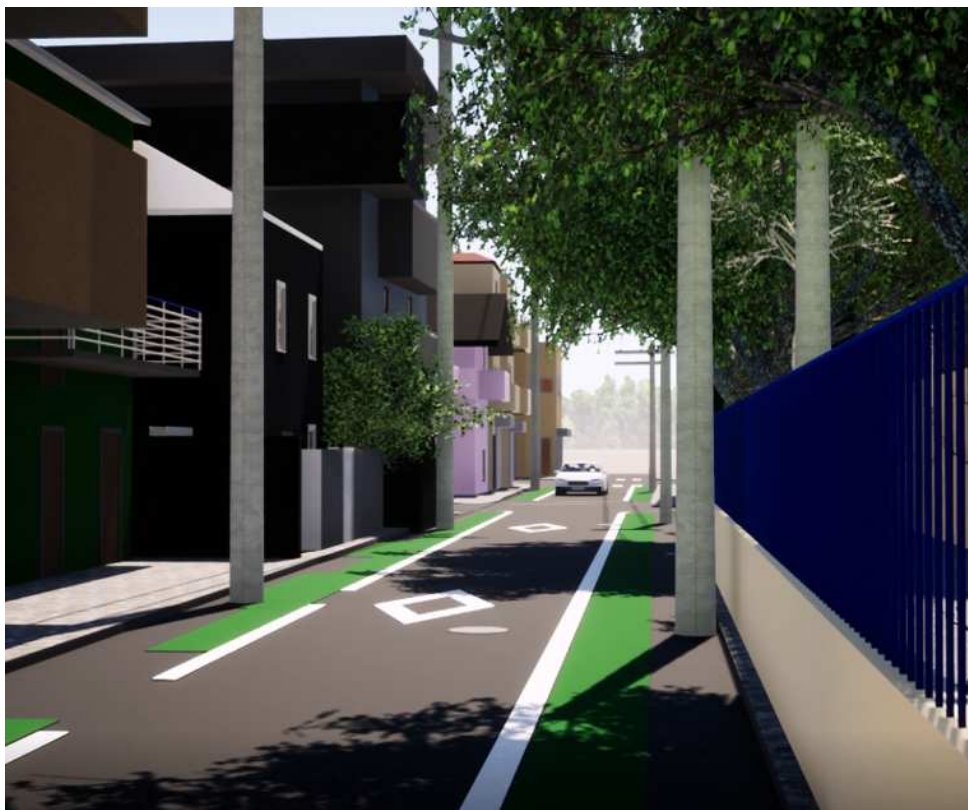
学校用地に地上機器が設置された事例

葛新19号線



11. 無電柱化整備のイメージ

【 現 状 】



【 無電柱化後 】



12. 事業スケジュール(令和2年2月時点)

【 主な工事時期 】

- 令和2年7月頃：試掘調査
- 令和4年度：支障移設工事
- 令和5年度：本体工事
- 令和6年度～：引込管・連系管工事、抜柱工事、舗装整備工事

令和8年3月完成予定

主な意見交換内容

○道上小学校の改築工事に関すること

質問:無電柱化を実施する道路に面している道上小学校の改築工事が行われると聞いていますが、調整はしていますか？
回答:担当部署と密に情報交換をしながら事業を進めております。

○管理区分や費用に関すること

質問:無電柱化を実施する道路は区道ですか？事業費は区が全て負担するのでしょうか？
回答:無電柱化を実施する道路は区道です。

事業費について、本事業は東京都が創設した「無電柱化チャレンジ支援事業制度」に基づいて交付される補助金等を活用しながら行う事業です。そのため、区が事業費をすべて負担することはありません。

○工事期間中に関すること

質問:工事期間中の周辺住民への影響はあるのでしょうか？工事中は現場を通行できるのでしょうか？
回答:来年度以降実施する設計の中で工事に関する検討を行い、周辺住民への影響について明らかになる予定です。
工事中は現場に歩行者や自転車用の通路を設けます。通行する際にはガードマンが安全に配慮しながら誘導します。

○無電柱化のデメリットに関すること

質問:電柱がなくなることにより、自転車や自動車が速度を上げて通行するようになり危険になるのではないのでしょうか？
回答:電柱を避けるために車道へはみ出すことがなくなるので、現在よりも安全性は高まります。
また、電柱と車両に挟まれて死亡する事故が発生しているため、電柱をなくすことでこのような事故は減ると考えます。
自転車や自動車に対しては注意喚起看板や路面標示などを活用した、マナー向上に向けた安全対策を検討します。

質問:無電柱化は、台風や地震に対するメリットは大きいと思いますが、水害や液状化被害に対してはどうなのでしょう？
回答:電線共同溝と呼ばれる地下の施設は水に耐えられる構造となっていますが、地上機器と呼ばれる地上の施設は水没すると電気が止まってしまいます。また、液状化が発生すると電線共同溝と呼ばれる地下の施設のつなぎ目部分がずれてしまい、電気が止まってしまう恐れがあります。
そのため、日ごろから電線管理者と協力して災害時の復旧方法や体制を整えています。